

中央区 SAPPORO

社協 だより

Vol.97
2023.11

Contents | もくじ

- ▶ 赤い羽根共同募金報告 2
- ▶ 福まちかわら版 3～4
- ▶ 深ボリ！社協の魅力 5
- ▶ 寄付・賛助会員報告 6

赤い羽根共同募金『街頭募金運動』へのご協力ありがとうございました!

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。

寄せられた募金は、地域で行われる様々な福祉活動の他、国内各地で発生する地震や台風などによる災害発生時の被災者支援活動などに使われます。

10月1日から7日の期間は、中央区内各団体の方々に街頭募金のご活動をいただき、中央区全体で、総額229,139円もの善意をいただくことができました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。



※専修学校クラーク高等学院 札幌大通校の生徒の皆様



赤い羽根共同募金の助成金を受けて発行しています

街頭募金運動にご賛同、ご協力いただいた皆様と各店舗等のご紹介

(順不同、敬称略)

民生委員児童委員

区内各地区民生委員児童委員協議会
(東北、苗穂、東、豊水、曙、山鼻、大通、西、南円山、円山、宮の森大倉山)

連合町内会等地域住民組織

本府地区女性部、東地区女性部、豊水地区女性部、西創成親和会女性部、曙地区女性部、山鼻地区女性部、大通地区女性部、西地区女性部、南円山地区女性部、円山地区女性部、桑園地区女性会、宮の森大倉山地区女性部

老人クラブ

円山北町クラブ、シニアすこやかクラブ、幌西長栄会、宮の森柏クラブ、円山西町幌見会、苗穂洋々会、コスモス会、曙和朗会、桑園桑の実会

ふれあい・いきいきサロン

げんき会、ファミリー中島公園ひまわり会、ライラックサロン、サロングランフォーレ、萌黄会

学校

札幌龍谷学園高等学校、専修学校クラーク高等学院 札幌大通校

その他

NPO 法人シーズネット、中央区ボランティア連絡会、多機能型事業所とらいわく

募金場所としてご協力いただいた店舗及び施設等

サッポロファクトリー、中央区役所仮庁舎、狸小路商店街、すすきのビル、スーパーアークス山鼻店、西友旭ヶ丘店、ラルズマート啓明店、ラルズマート伏見店、コープさっぽろやまはな店、JR 苗穂駅、JR 桑園駅、地下鉄各駅(西11丁目、西28丁目、バスセンター前、円山公園、中島公園)



イベント募金を行いました

円山動物園、地域の行事、学校の行事などでイベント募金を行いました。赤い羽根共同募金の普及、啓発活動と周知を目的に、イベント主催者のご支援のもとで実施しました。中央区ボランティア連絡会の皆様にもご協力いただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



7月30日 サマーフェスティバル 2023in 曙



8月12・13日 円山夏祭り子ども盆踊り大会



8月13日 サマーフェスタ苗穂&子ども盆踊り



8月13・14・15日 円山動物園



8月14・15日 豊水ふれあい盆踊り大会



9月9日 心福マルシェ



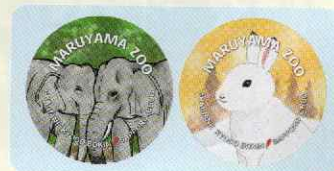
9月16日 なんきゅう秋祭り

令和5年度 寄付金グッズのご紹介

中央区共同募金委員会では、毎年、募金活動を身近なものに感じていただくために、中央区の名所でもある円山動物園にご協力をいただき、缶バッジを作成しています。令和5年度は、ユキウサギ、アジアゾウがデザインされた缶バッジを作成しました。

中央区限定のピンバッジは、区制50周年を記念して作成されたマスコットキャラクター「中ウォークン」のデザインです。今年度限定のお取り扱いですので、ご希望の方はお早めにご連絡ください。

※連絡先は巻末(下段)に掲載しています。



円山動物園缶バッジ
(各200円の募金で1つ進呈)



中央区限定ピンバッジ
(500円の募金で1つ進呈)

福まち かわら版

福祉のまち推進事業は、「住み慣れた地域で安心して、ずっと暮らしたい」というみんなの願いをみんなで支える事業です。

近年の社会環境、世帯状況の変化に伴い、地域における人間関係の希薄化が進み、コロナ禍においてさらに社会的孤立が大きな問題となっています。今まで以上に身近な地域での、見守りや支え合い活動が必要になってきています。

そのため、各連合町内会単位に設置されている地区福祉のまち推進センター（以下「地区福まち」）では、住民同士の支え合い活動を広げていくために、さまざまな取り組みを行っています。

福まち全体研修会を開催しました

「災害についての備えを改めて考える」一日となりました

令和5年8月23日（水）、札幌ガーデンパレスで地区福まち関係者・まちづくりセンター所長等52名の関係者にご参加いただき、「令和5年度中央区福祉のまち推進センター全体研修会」を開催しました。札幌市においては震度6弱の地震やブラックアウト（全域停電）を引き起こした胆振東部地震から5年目の節目の年にあたることから、地域での防災に対する備えを再確認していただくことを目的に、北見市にある日本赤十字北海道看護大学の看護薬理学領域・根本昌宏教授を講師として、「北海道の地域性をふまえた命を護り健康を保つ災害対策」をテーマに講話を行っていただきました。講話では、今後北海道で起こると考えられている、地震による被害についての説明や、「冬季における災害への備え」についてお話しして下さいました。災害時の避難生活で確認しなければならないこととして、トイレや災害食、就寝

環境があり、平時からこれらについて準備をしておくことの大切さを知ることができました。また、オホーツク管内の学校の授業で取り入れている災害訓練のお話では、子どもたちの目線や豊かな感性が、被災時に、高齢者や障がいのある方への対応に役立ったとのことでした。

参加された方からは「日常生活の中で、被災時の生活になった場合の訓練をしておく重要性を学んだ」、「避難所の現実が良く分かった。日頃から備えることの必要性を強く感じた。しかし喉元過ぎれば熱さ忘れるで難しいものがある。」「子ども目線で防災を考えられると気付けることもたくさんありますね。地域のつながりも、子ども目線を入れることができれば新しい発見があるかもしれません。」等の声がありました。

今後も、地区の研修会等でご相談等がありましたら、情報提供していきたいと考えておりますので、お気軽にお声がけください。



▲説明がわかりやすいとの声を多くいただきました



根本昌宏教授
日本赤十字北海道看護大学 看護薬理学領域



▲講師のお話しを熱心に聞き入られていました



大通地区 みんなで見守り・助け合える仕組みづくりに 取り組みました！ ～『かくれんぼスタンプラリー』～

令和5年9月2日（土）に大通地区で、認知症の高齢者や子どもたち等がいなくなった際の対応を想定し、スマートフォンのアプリで検索する訓練を兼ねたイベント『人物を探せ！大通地区かくれんぼスタンプラリー』が開催され、大通地区社会福祉協議会や大通地区福祉のまち推進センターの関係者、地域住民のみなさん等、約30名が参加されました。

当日、検索協力者となる参加者は、スマートフォンに無料アプリ『地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）』をダウンロードし、今回検索していただく5名の情報を受け取り、大通公園や札幌市資料館周辺を歩いて検索しました。

参加者は4～5名のグループに分かれ、アプリから発信された検索する5名の写真や服装、趣味などの情報を頼りに、約1時間ほど、検索エリアの地図を見ながら中通りや公園・お店など、「ここにいるのではないかと」

推理していました。

参加されたみなさんは、「ゲーム感覚で面白かった」、「写真があったので探しやすかった」と話されていました。

身近なスマートフォンアプリの活用によって、認知症の方や子どもたち等を見守り・助け合う地域づくりに協力していただける方が増えることを願っております。



▲参加者のみなさんが使用した「検索エリアの地図」



シリーズ

深ボリ! 社協の魅力



中央区には、札幌市社会福祉協議会が運営する様々な事業所・センターがあるをご存知でしょうか。各拠点の魅力やおすすめポイントなどを、毎号シリーズで紹介していきます。



札幌市長生園
土屋副園長

私が紹介します!



今回は… 養護老人ホーム札幌市長生園

札幌市長生園は、市内に4カ所設置されている養護老人ホームのうちの1つです。札幌市が設置し、指定管理者として社会福祉法人札幌市社会福祉協議会が運営しています。

入園の条件は、65歳以上でご家庭の生活に何らかの不安がある方。また、経済的にお困りの方でお身体の状態が、食事・入浴・洗濯等、自身のことが自分でできる方となっています。

居室は、全室個室でプライバシーが守られます。6畳の空間の他、トイレ・洗面台・押し入れ等が備え付けており、暖房を完備しています。

また、地下鉄東西線西18丁目駅やバス停に近く、交通手段に恵まれています。札幌市社会福祉総合センターに直結しており、老人福祉センターや情報センターの利用に便利です。

お問い合わせは札幌市長生園に、利用申込み窓口は本人居住区の区役所保健福祉課になります。



▲お食事 (一例)



▲介護予防センター大通公園による出前講座の様子

◀養護老人ホーム札幌市長生園 外観

ショートステイのご案内

高齢者生活支援型ショートステイは、市内2カ所で受け入れをしており、その1つが札幌市長生園です。

対象となるのは市内にお住いの65歳以上で、要介護認定を受けていない方、もしくは、要介護認定の結果自立(非該当)と認定された方。日常生活動作が自立または、一部が不自由で一時的に家庭生活が困難になる方が対象となります。

利用できるのは年間14日間以内となっています。お問い合わせは札幌市長生園に、利用申込み窓口は本人居住区の区役所保健福祉課になります。

DATE

養護老人ホーム 札幌市長生園

住 所 札幌市中央区大通西19丁目1
T E L 011-614-1171

：ご寄付ありがとうございました：

〈令和5年8月～令和5年10月のご寄付〉

8月16日 木田 重信様…………… 100,000円
9月20日 中央区西連合町内会女性部様…………… 50,000円
10月13日 明治安田生命保険相互会社様……………106,500円



いただいたご寄付は、中央区内の「ふれあい・いきいきサロン」の支援や、地域福祉活動に活用させていただきます。

個人の方の寄付および賛助会員会費については、寄付金控除として所得控除をすることができます。

賛助会員になりませんか

中央区社会福祉協議会では、地域の皆さんが、安心して安全に暮らすことのできる福祉のまちづくりをめざして、地域の皆さんや企業・団体、行政関係機関とともに地域福祉事業に取り組んでおります。

いただきました賛助会費は、身近な地域で支えあう住民福祉活動の財源として活用させていただきます。

ご入会いただける場合は、事務局までご連絡をお願いいたします。

たくさんの皆さまのご支援をお待ちしております。

会費(年額)

▶個人(1口)… 1,000円

▶団体(1口)… 10,000円

令和5年度賛助会員にご加入いただきありがとうございました

(個人) ・石塚 繁子様 ・生田 京子様 ・浦島 博子様 ・河井 基博様
・千秋 憲博様 ・千秋由紀子様 ・千葉 啓子様 ・長尾 隆男様
・山下 敏生様 ・山本 聡様 (五十音順)
・中央区第1地域包括支援センター職員様 ・中央事業所職員様
・中央区役所役職員様 ・札幌市長生園職員様

札幌市中央区社会福祉協議会

〒060-8612 札幌市中央区大通西2丁目9 中央区役所仮庁舎5階

電話：011-281-6113 FAX：011-208-0881

ホームページ <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/about/chuo-shakyo/>



フォローしてまも！



✉ @mamorin93